
空き家事業を展開するジェクトワン、 社会課題の解決に貢献しながらパーパスを実現し、 持続的に成長していく千葉銀行と 「ポジティブ・インパクト・ファイナンス」を締結

不動産の開発事業・リノベーション事業および空き家事業「アキサポ」を展開する株式会社ジェクトワン（本社：東京都渋谷区、代表取締役：大河 幹男 以下、ジェクトワン）は、株式会社千葉銀行（本店：千葉県千葉市、取締役頭取：米本 努 以下、千葉銀行）と「ポジティブ・インパクト・ファイナンス」の契約（以下、本ファイナンス）を締結し、本日実行されましたので、下記のとおりお知らせいたします。



■本ファイナンスについて

本ファイナンスは、企業活動が環境・社会・経済にもたらすインパクトを包括的に分析・評価し、ネガティブインパクトの緩和とポジティブインパクトの拡大について目標を設定し、その実現に向けた継続的な対話や支援を重視することでSDGs達成に貢献していく金融手法です。千葉銀行は、株式会社日本格付研究所の協力を得て、国連環境計画金融イニシアチブ（UNEP FI）が提唱した「ポジティブ・インパクト金融原則」等に適合させるとともに、株式会社ちばぎん総合研究所が千葉銀行と共同で開発した評価体系に基づき「ポジティブ・インパクト・ファイナンス評価書」を発行しています。

■締結の背景

千葉銀行は、当社の事業活動が自然環境・社会・社会経済に及ぼすインパクトを分析し、本ファイナンスの締結に至りました。具体的には、リノベーションや空き家の再生を通じた資源の有効活用および廃棄物の削減、さらに教育環境の整備や適正な賃金・雇用の創出などを通じて、環境・社会・経済へ好影響を与えている点などを評価いただいています。

本ファイナンスの締結を通してより一層、ジェクトワンは今後も空き家事業を中心に、環境・社会・経済にポジティブな影響を与える企業活動を展開してまいります。

■ジェクトワンのポジティブ・インパクト

①不動産開発を通じた地域の魅力向上

空き家事業「アキサポ」を通じ、個人や中小事業者が保有する空き家の有効活用を推進し、住宅の長寿命化、地域の活性化に貢献する。

②環境負荷を低減した住みよい住宅の提供

省エネ性能の高い住宅の普及による気候変動への対応および住宅の長寿命化による廃棄物の削減。

③社員のワークライフバランス向上

多様性のある職場づくりおよび働き方改革の推進によるワークライフバランスの向上。

■本ファイナンスの概要

契 約 日： 2026年9月24日

実 行 日： 2026年9月29日

金 額： 5億円

期 間： 5年

資金使途： 運転資金

■株式会社ジェクトワン

所在地： 東京都渋谷区渋谷二丁目17番1号 渋谷アクシユ21F

設立： 2009年1月28日

代表取締役： 大河 幹男

資本金： 1億3,000万円

事業内容： 総合不動産開発事業（住宅、ビル、商業、ホテル）、リノベーション事業、賃貸管理事業、空き家事業

URL： <https://jectone.jp/>

■株式会社千葉銀行

所在地： 千葉県千葉市中央区千葉港1番2号

設立： 1943年3月

取締役頭取： 米本 努

資本金： 1,450億円

事業内容： 金融事業

URL： <https://www.chibabank.co.jp/>